



## 避難訓練（火災想定）11/16 ～煙の怖さを体験しました～

約2分。これは何の数字でしょうか。これは一般的な家庭で火災が発生してから脱出できる制限時間です。

火災の死因で多いのは焼死なのですが、直接的な死因は焼死ではありません。原因は「一酸化炭素中毒」。物が燃えると各種の有毒ガスが発生し、これを吸い込むとあっという間に意識障害が起き失神してしまいます。そして火にまかれ焼死してしまう…ということが多いのだそうです。

「煙は、はじめは白く、そして黄色、黒と色が変化し、色が変わると有毒ガスが増えていきます。煙が白いうちに、煙を絶対吸い込まないように避難することが大切です。」



煙を吸わないように避難します



煙道体験（前が見えません）

と消防署の方も話されていました。

たったの2分、これは火災に気付く前に過ぎてしまうような時間です。（そのために火災報知機が設置されています。）今回の避難訓練では全員が避難するまでに2分44秒かかっていたので、もっと早く避難できるようにしなければなりません。そして2分以内に避難するためには、煙に気付いたら、できるだけ早く避難することです。

今回の避難訓練では、煙の怖さを体験するという事で煙道体験も行いました。煙（無害な煙）が充満しているテントを潜り抜ける体験でしたが、子どもたちは「前が全然見えなかった。」「方向が分からなくなるとパニックになる。」等、煙の怖さを感じたようでした。

## 南外小との交流授業 ～3年外国語活動～

今日、南外小学校の3年生が来校し、本校の3年生との交流授業を外国語活動で行いました。

南外小学校では、保育園からずっと同じ子どもたちが小学校、中学校と過ごし、人間関係が固定化しているため、他校との交流を通して様々な刺激を得たり、積極的に他の人との関わりをもとめたりする態度を育てたいということで、昨年度から他校との交流授業を行っているそうです。

今日の外国語活動では、名刺交換をしたりゲームを一緒に楽しんだりしながら交流を深めました。はじめはやや緊張気味の子どもたちでしたが、次第に慣れ、帰る頃にはもうすっかり仲良くなっていました。はじめての交流ということで、今回は外国語活動で行いましたが、算数や国語など他の授業でも交流できれば、子どもたちばかりでなく担任にとってもよい刺激になるのではないかと思います。

保育園から続く同じ人間関係で中学校まで過ごしていくことは本校にも言えることですが、3年生は積極的に南外の子どもたちと触れ合おうとしていました。その姿から開かれた心が育っている様子が伺え嬉しく感じました。



名刺交換しながら自己紹介